

令和4年度 災害復旧促進全国大会

～ 8月豪雨の被害状況と復旧に向けた課題～



新潟県 関川村

関川村の概要

いち押し
特産品

猫ちぐら



猫ちぐらは、わらを編み込んで製作した猫の家。愛猫家のみならず、家庭のインテリアとしても好評です。

面積 299.61km²
世帯数 1,756世帯
人口 5,147人
高齢化率 43.4%

～観光と農業の村～
km

水田 1,290ha
えちごせきかわ温泉郷
(高瀬・鷹ノ巣・雲母・湯沢・桂の関)

村道延長 340km
うち消雪パイプ50

日本海

関川村

女川

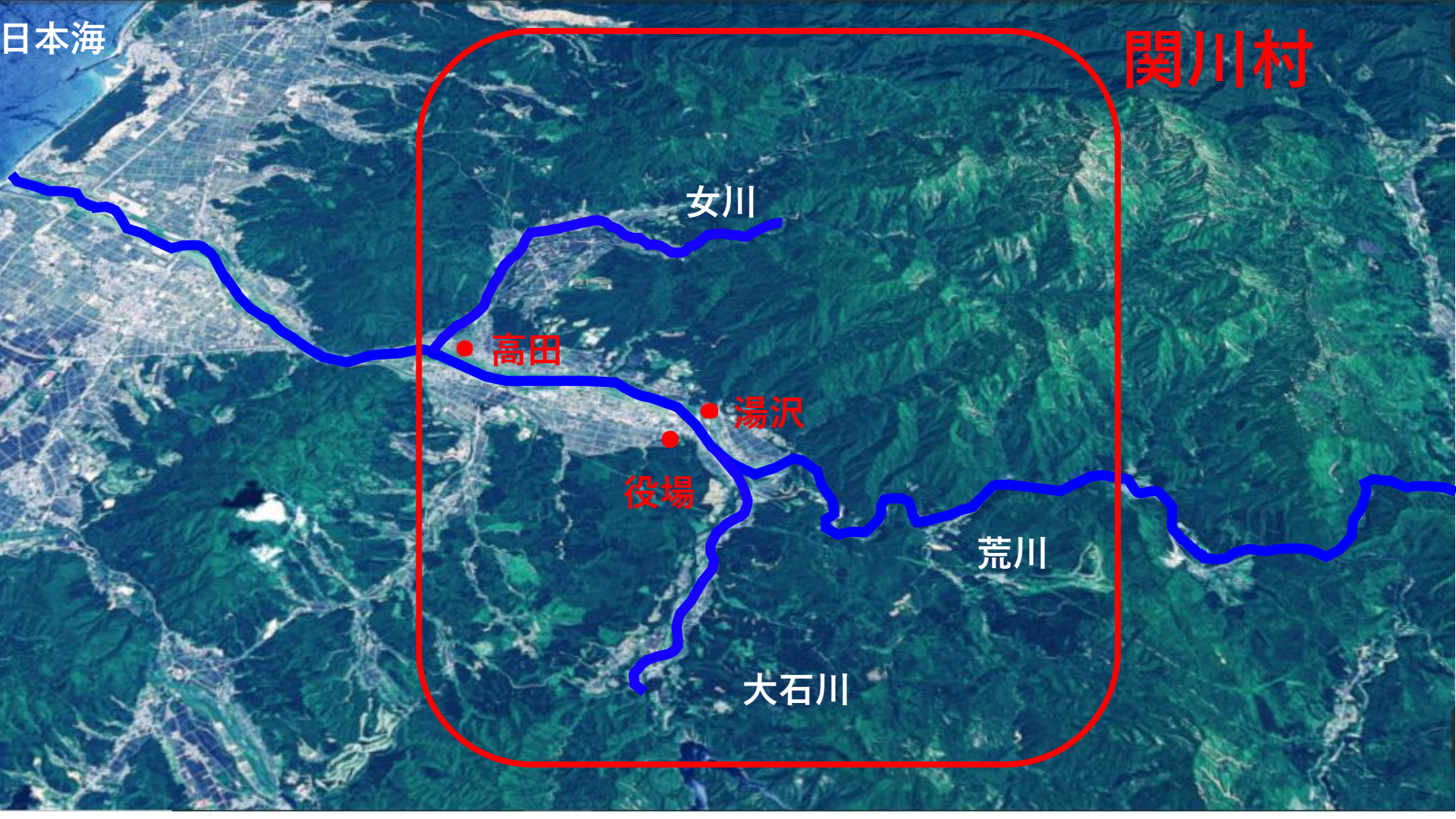
● 高田

● 湯沢

● 役場

荒川

大石川



羽越水害から55年

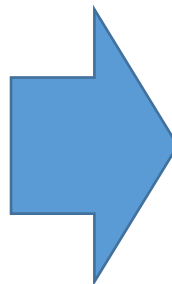
1967年（昭和42）8月28日

30時間で700mm

荒川・大石川等が決壊

死者・行方不明34名

全壊・流出37軒 半壊494軒



●洪水調整ダムの建設

・大石ダム 1978年完工

・横川ダム 2008年完工

●堤防嵩上げ・本堤護岸の実施

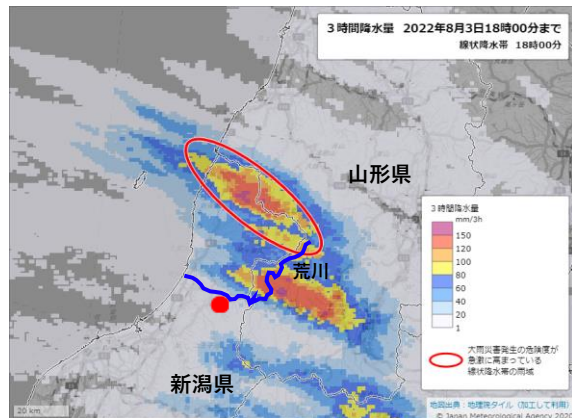


外水氾濫に対する整備は進んでいるが . . .

令和4年8月3日・4日の気象状況①

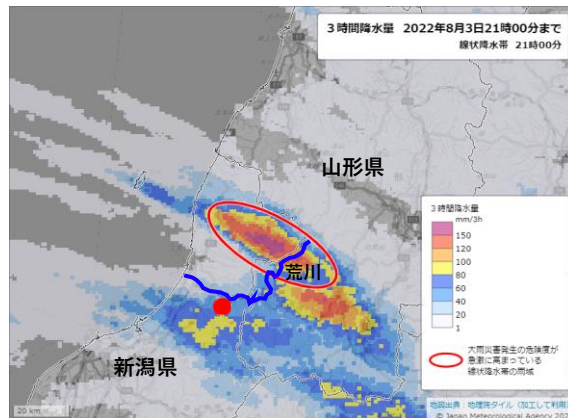
- ・線状降水帯が3日夕方から県北地域で発生。村では、上流の降雨に警戒。
- ・4日0時から3時にかけて、荒川流域（関川村）に居座り続けた。

8月3日 18:00



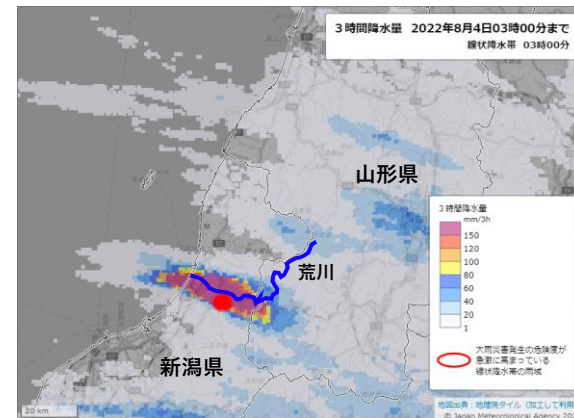
18:09 顕著な大雨に関する気象情報第2号
(下越)

8月3日 21:00



21:19 顕著な大雨に関する気象情報第3号
(下越)

8月4日 3:00



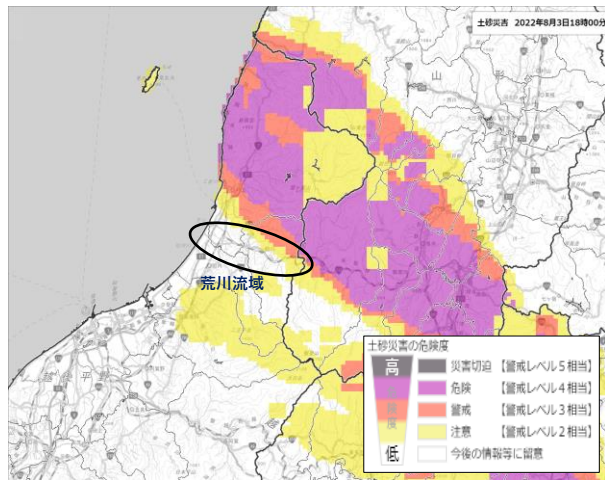
(顕著な大雨に関する気象情報の発表なし)

資料提供：新潟地方気象台

令和4年8月3日・4日の気象状況②

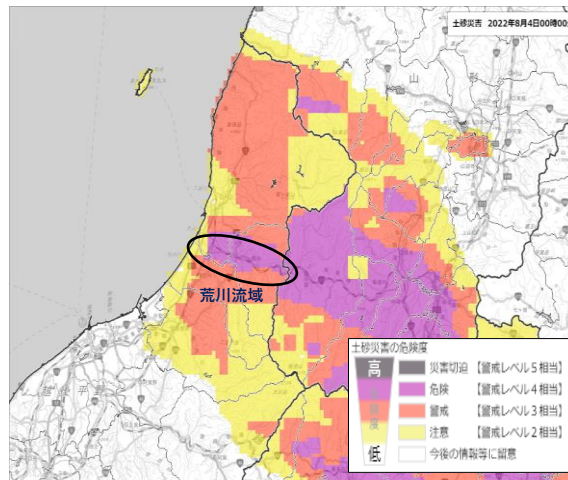
- ・ 気象台では、3日夜中から土砂災害警戒情報を発表。
- ・ 4日1時30分には、関川村で警戒レベル5の「黒」が出現した。

8月3日 18:00



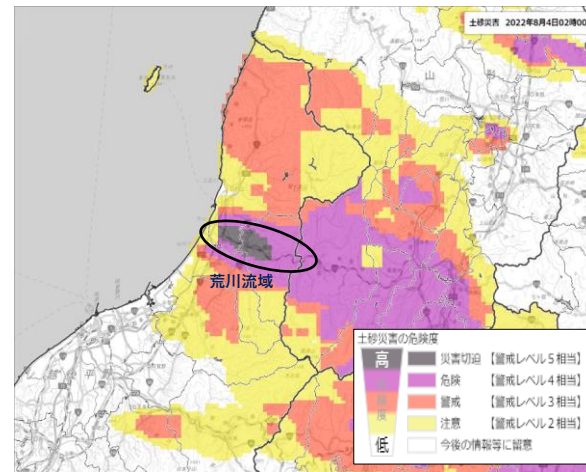
17:20 関川村：土砂災害警戒情報

8月4日 00:00



荒川流域で「紫」出現

8月4日 02:00

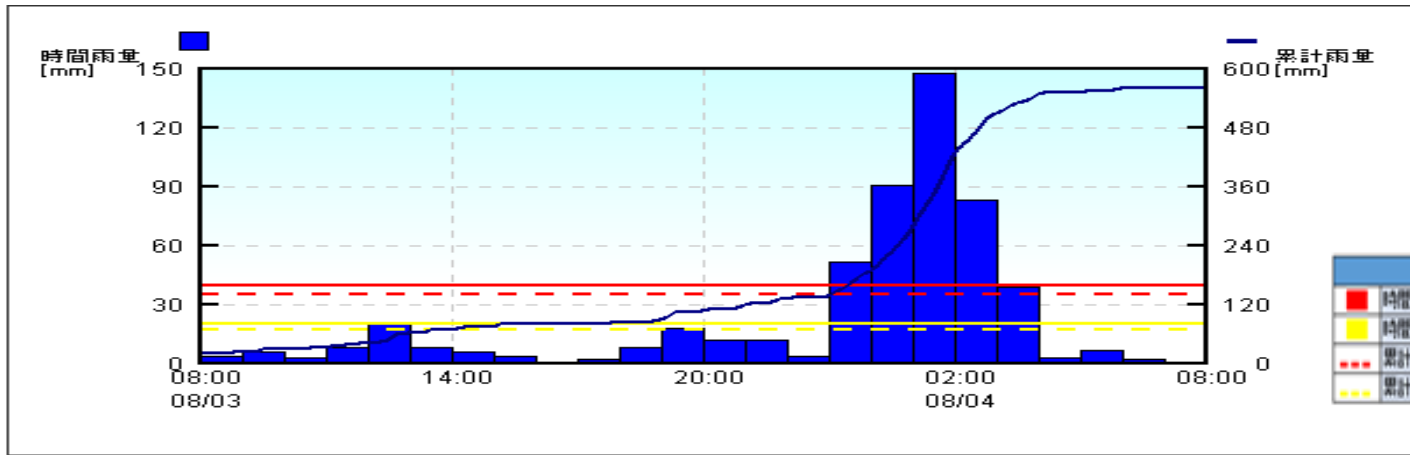


1:30 土砂キキクル「黒」初出現

降雨の状況① 降水の推移

- ・ 10 mmから20 mmの降雨で、3日22時には累計120 mmとなっていた。
- ・ 3日深夜から大雨となり、観測史上最高値となる148 mm/hを観測し、総雨量は560 mmを超えた。（国交省観測では、161mm/h）

雨量観測所
(気象台)
関川村下関

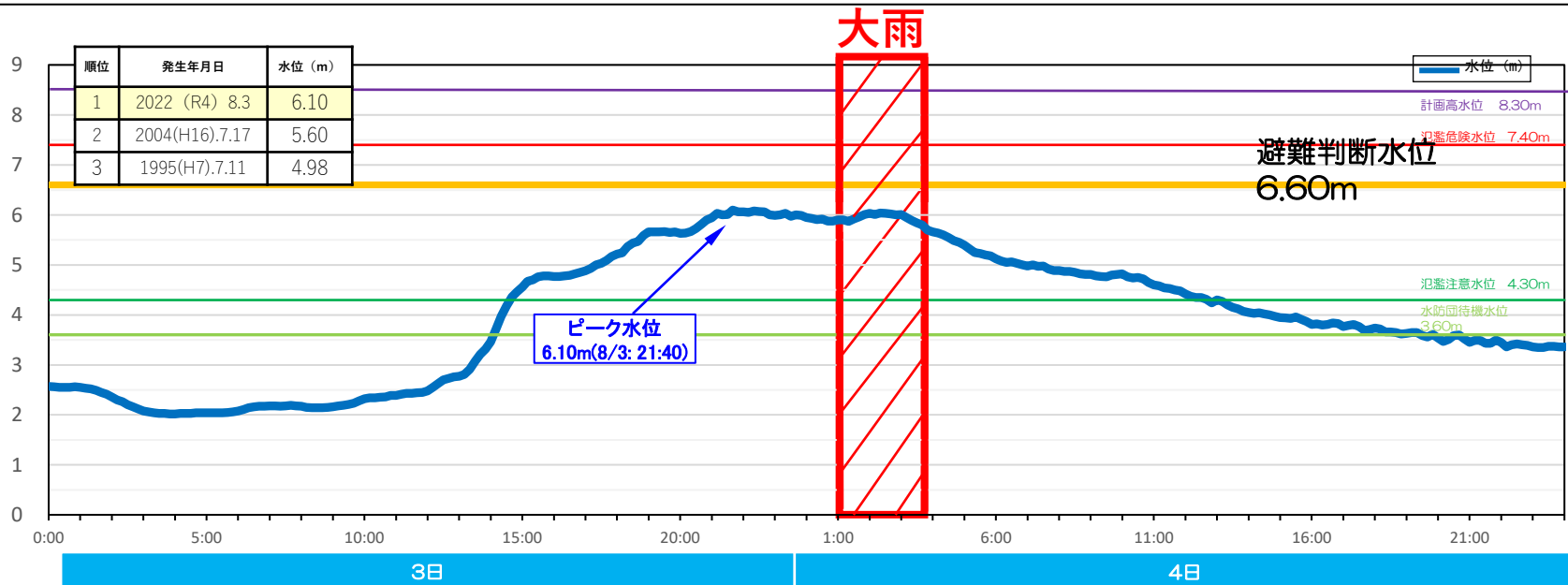


観測データ (08/03 09:00-08/04 08:00)

月/日	08/03											
時:分	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
時間雨量	4	6	3	8	20	8	6	4	1	2	8	18
累計雨量	25	31	34	42	62	70	76	80	81	83	91	109
月/日	08/03			08/04								
時:分	21:00	22:00	23:00	24:00	01:00	02:00	03:00	04:00	05:00	06:00	07:00	08:00
時間雨量	12	12	4	52	91	148	83	39	3	7	2	0
累計雨量	121	133	137	189	280	428	511	550	553	560	562	562

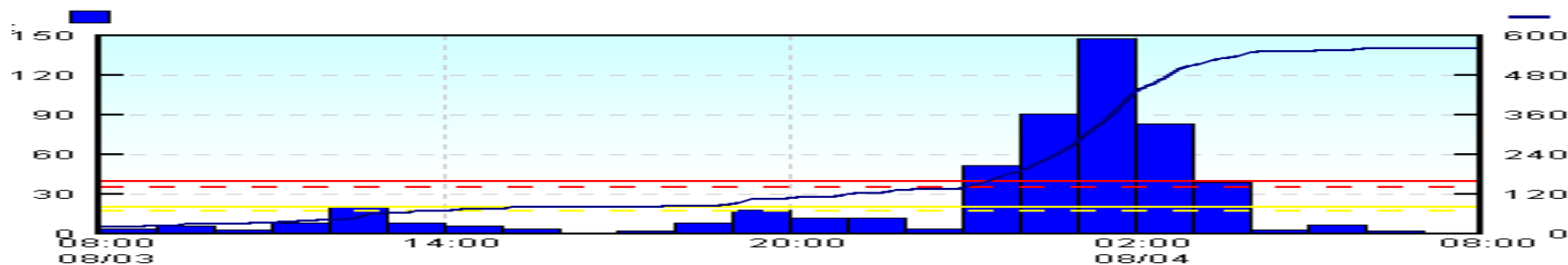
降雨の状況② 荒川の水位

- 荒川の水位は、21時40分に6.1mとなり、過去最高値となった。
- その後はほぼ安定し、避難判断水位までには達しなかった。



気象情報と村の動き

- ・避難指示等の発令をすることなく、緊急安全確保の発令となった。
- ・高田集落では発令を待つことなく、自主防災会の呼びかけで、避難行動を実施。



大雨警報

土砂災害警戒情報
自主避難所開設
土砂キキクル「紫」

高田集落避難
避難所開設

緊急安全確保発令
大雨特別警報
湯沢・湯蔵川氾濫
土砂キキクル「黒」

被災した高田集落



被害状況① 高田集落

- ・ 75世帯中73世帯が床上浸水の被害。
- ・ 排水ポンプ車は、1台が夜間から稼働。追加要請車は、危険なため現地入りを断念。
- ・ 3日夜間以降に浸水が進み、自主的避難や垂直避難で難を逃れた。
- ・ 主な原因は、太田沢川及び前川の溢水による内水氾濫。



浸水した高田集落



排水ポンプ車による排水作業

被害状況② 湯沢地区

- ・ 沢から流出した土石流により、温泉旅館を含む7件が被害を受けた。
- ・ 土砂災害警戒情報を注視していたものの、事前予告は困難であったが、自主的な垂直避難によって人的被害が避けられた。



土砂流出した湯沢集落



土砂に覆われた湯沢集落

被害状況③ その他



崩壊した荒川護岸
(鷹の巣温泉旅館)



田んぼ一帯に
土砂が流入



壊滅したJR米坂線
復旧は未定



崩壊した橋りょう

被害状況④ まとめ

- ・荒川本川の越水被害はなかったものの、内水氾濫による床上・床下浸水被害が多く発生した。
- ・短時間の記録的豪雨で、山からの大量の土砂流出、土石流が発生した。

(1) 人的被害

なし

(2) 住宅被害

総数	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水
459	2	10	162	285

(3) 上下水道

- ・上水道断水 19戸
- ・公共下水道管きよ被害 2か所

(4) 交通障害

- ・国道113号
8/6 17:00通行止め解除
(夜間・降雨時は通行止め、片交あり)

り)

9/28 6:00全面開通

被害状況④ まとめ

(5) 農地関係

- ・頭首工 40か所
- ・ため池 12か所
- ・用水機場 3か所
- ・用排水路290か所
- ・農道 116か所
- ・農地 553か所

(6) 土砂災害発生状況

- ・がけ崩れ 6か所
- ・土石流 3か所

(7) 農林関係

- ・野菜栽培施設 5棟
- ・水稻 土砂流入150ha 冠水300ha
浸水 650ha
- ・園芸作物 0.93ha

(8) 農業機械

- ・トラクター 12台
- ・コンバイン 22台
- ・田植機 12台
- ・乾燥機 21台 ほか

(9) 林業関係

- ・林道 10路線 33か所
- ・しいたけ菌床浸水
- ・林業施設 2か所
- ・林地 33か所

(10) 福祉施設

- ・高齢者施設 4か所
- ・保育園 1か所

(11) 文化・教育施設

- ・文化財 3か所
- ・社会教育施設 1か所

今後の課題 ①

<ハード>

- ① 継続した国土強靱化対策 （河道掘削、砂防堰堤の整備）
- ② 度重なる被災地域での抜本的な治水対策
（流域治水の推進）
- ③ 災害復旧は、国費を無駄にしないためにも、改良復旧を積極的に導入
- ④ 採択要件の緩和 （地域の実態に合わせた柔軟な対応）
- ⑤ 災害にも対応できるダブルネットワーク（道路網）の整備

今後の課題 ②

<ソフト>

① 技術系職員の確保・支援

② 被災者支援の拡充

(例) 床上・床下被害認定基準の見直しなど

ご支援いただいた皆様

国土交通省、環境省

新潟県

日本赤十字社

新潟地方気象台

新潟市中央消防本部、村上消防関川分署

新潟県市町村、チームにいがた

新潟大学、富山大学

国立研究開発法人 防災科学技術研究所

茨城県境町（ふるさと納税代理受領）

岡山県倉敷市（災害廃棄物処理、公費解体）

千葉県館山市（災害廃棄物処理、公費解体）

千葉県鋸南町（災害廃棄物処理、公費解体）

語り継げ 羽越水害 子に孫に

1967年（昭和42）8月28日

災害の経験を村民自身が伝承していくことが将来の備えに！



大したもん蛇まつり

- ・村の大蛇伝説と羽越水害をテーマとして、1988年から実施
- ・発災日に合わせ体長は82.8m
- ・毎年8月最終日曜日に開催

ご清聴ありがとうございました。